

広報 かわぐち

No. 166 8月
昭和62年

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



町制施行30周年を祝う
ふるさと友好都市提携調印も
7月25日、町制を施行して今年で30年を迎えました。これを祝う記念式典と総合竣工式が併せて、この記念すべき日に東京都狛江市との「ふるさと友好都市」提携調印式が川口中学校で盛大に開催されました。

自衛官募集

安定した待遇と 楽しい生活

防衛庁では、自衛官(二等陸、海、空士)を次のとおり募集しています。

- 受付期間 年間を通じて行っています。
- 応募資格 採用予定月の一日現在、十八歳以上二十五歳未満の方
- 試験期日及び試験場 受付時にお知らせします。
- 身分 特別職国家公務員
- 衣・食・住 被服が無料で支給又は貸与されます。さらに食事代、宿舍費等は、無料です。
- 厚生 駐とん地には運動施設、娯楽室、図書室、売店などが設置され、全国各地に宿泊、保養施設があります。
- その他 車の免許や整備士、各種の技能者になることができます。

※詳しいことは、役場町民課へお問い合わせください。

子供の水難事故

事故の六割が夏に発生

もう一度注意を!

夏になると、海や川に行く機会が増えますが、水難事故には十分気をつけたいもの。特に、夏休みの時期は、毎年子供の水の事故が目立ちます。昨年一年間で、「水の犠牲」になった中学生以下の子供は四百六十九人。このうち、六月から八月までの三カ月間に、全体の六割近い二百六十七人が生命を落としています。

夏休みを迎えて、次のことについてもう一度注意して、子供を水の事故から守りましょう。

子供の水泳や水遊びには 大人が必ず同伴しよう

子供の水難事故の六割以上が、子供達だけで出かけた際に発生しています。子供の水泳や水遊びには、必ず保護者が信頼できる大人が同伴するようにしましょう。

家の近くの危険な 場所を再点検

自宅附近の河川や用水路、

雨降り後は特に 注意を

雨が降った後は、川や用水路の水かさが増すばかりでなく、水の流れも速くなり大変危険です。子供が近づかないよう特に注意が必要です。



▲田麦山小 水泳練習(飛び込み)

献 血

ときき 8月26日(水)
AM10時～PM 3時

ところ 福祉センター

献血できる人 満16歳から
65歳未満の健康な方

※12時～1時までは採血を休みます。

ごみ収集のお休み

お盆のため

8月15日(土)は

ごみ収集を休ませていただきますので、ご協力ください。

町民プール開設

期間 7月28日～8月31日

時間 午前10時～午後5時
(正午～午後1時まで休み)

※小学3年までは必ず保護者同伴をお願いします

料金無料

人 口	6,534 人	昭和62年8月1日現在
男	3,201 人	
女	3,333 人	
世帯数	1,510 戸	

おもな内容	町制施行30周年記念式典……………	2～3	ぼくたちスポーツ少年団……………	12
	ふるさと友好都市提携調印……………	4～5	ヤング紹介……………	13
	川口まつり……………	6～9	郷土の歴史を綴る……………	14
	カメラリポート……………	10～11	おしらせコーナー……………	15～16

町制施行30周年

年記念式典

七月二十五日、町制施行三十周年を祝う記念式典及び総合竣工式並びに東京都狛江市との「ふるさと友好都市」提携の調印式が、川口中学校体育館に町内外者約五百名を招待して盛大に開催されました。

祝砲が轟くなか、式典は午前十一時に始まり、青柳町長の式辞、町制施行三十周年特別表彰と総合竣工式が行われた。

来賓の祝辞には、県知事をはじめ国会議員「ふるさと友好都市」調印に出席した東京都狛江市長、同議会議員及び「都市と農村交流」を続けている練馬区長から祝辞が行われ、引き続き、狛江市との「ふるさと友好都市」提携調印式が行われた。



▲7/25 町制施行30周年を祝い式辞を述べる青柳町長 於 川口中学校

来たる二十一世紀へ 大きくはばたこう

青柳町長は式辞のなかで、三十年の歴史を振り返り、幾多の変遷を経て栄光の伝統を築きあげられた歴代町長、議会議員、関係機関及び町民の皆さんの協力に対して感謝を述べるとともに、定住構想案件整備が即、二十一世紀に対応できる町づくりに一致するという認識の上に立って、今日まで「健康にしてうるおいのある定住条件を満たすために」をテーマに、農林水産省を始めとする建設、労働、通商産業、厚生、文部、運輸等の条省庁の国庫補助事業を大幅に導入し、環境整備を行い「全国規模」の「大事業」が完成をみる事ができた。

また、定住構想の最終目的である「就労の場づくり」については優良企業の進出により、安定した雇用の機会が確保されるなど「定住構想」、「都市と農村交流」のモデル町として県内外から沢山の視察団が訪れている。

今、町は、全国最大規模を誇る「インターチェンジ」とはるかに越後三山の霊峰を仰ぎ、眼下に魚野川の清流を望む風光明媚の「スポーツとロマンのファミリー高原」をドッキングさせ、誘客を促し、町の活性化を図るため「滞在型家族旅行村」を建設中。

そして、今日の記念すべき日に、かねてより交流を進めてきた東京都狛江市と「ふるさと友好都市」の提携が実現の運びとなった。

更に、町制三十周年記念は、ただ過去の歴史を記念するばかりではなく、それは未来に對する新たな宣明の年であり、「激動」と「転換」のめまぐるしい社会経済情勢に、更に発想の転換を図り、町民の皆さんの理解と協力によって合意を形成しながら、二十一世紀に大きくはばたくことのできるユニークな「調和のとれた活力ある温かい町づくり」に精魂を打ち込むと力強く述べた。

町の誕生

明治二十二年町村制施行の際は、川口村・西川口村・川口原新田・山崎新田が合併して川口村と称し、また、中山村和南津村が合併して津山村となっていた。その津山村を明治三十四年川口村区域に合し昭和四年津山村の内、大字相川・武道窪・荒谷・牛ヶ島を川口村に合併。



さらに昭和二十九年、田麦山村を、昭和二十九年十一月に古志郡東山村の一部木沢・峠を合併し、昭和三十一年八月、町制を施行して川口町となった。

滞在型リゾート地、豊富な観光資源を生かし

町の飛躍に期待 (県知事 祝辞)

川口町町制施行三十周年記念式典及び総合竣工式並びにふるさと友好都市提携調印式に当たり、一言お祝いを申し上げます。

川口町は、昭和三十三年に町制施行以来今日まで、町民の皆さんと関係機関が一体となって町勢の発展に尽力され、本日でたぐ三十周年の記念式典を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

また、昭和五十四年以来、鋭意進めてこられた田麦山保育所をはじめ各種施設の総合竣工式と、二年越しの住民同志の深い交流で結ばれた、東京都狛江市との「ふるさと友好都市」提携の調印式が併せて行われることに、対し、重ねてお祝いを申し上げます。

また、ただ今、町政功労者として表彰を受けられた皆様は、長年にわたり川口町の発展と住民福祉の向上に寄与された方々であり、そのご労苦と本日の榮譽に対し、心から敬意を表するものであります。

川口町は近年、基幹産業である農業の複合営農を積極的に進められるほか、電気、精密機械などの企業導入にも力を注がれ、また、居住環境や教育、スポーツ施設の整備及びコミュニティ形成にも意欲的に取り組まれているなど、「調和のとれた活力ある温かい町づくり」を展開されているところであります。

恵まれた交通条件に加えて、中山高原一帯の県下でも屈指の規模を誇る総合運動公園やレクリエーション施設、清流魚野川のアユ漁などの自然を生かした観光資源も豊富であります。

更に、家族旅行村の指定を受け、滞在型のリゾート地を旨とする大型プロジェクトにも着手するなど、これからの国民の余暇時間の増加や生活様式の変化とともに、町の飛躍が大いに期待されるところであります。

一方、高齢化社会への移行や情報化、国際化の進展など、より複雑化していく行政需要に適切に対処していくには、新たな観点から来たるべき時代にそなえた施策の展開が必要であり、本日の記念式典を一つの契機として、川口町の持つ潜在的な力を掘り起こし、産業、文化の振興と住民福祉の向上に一層の努力をされんことを期待するものであります。

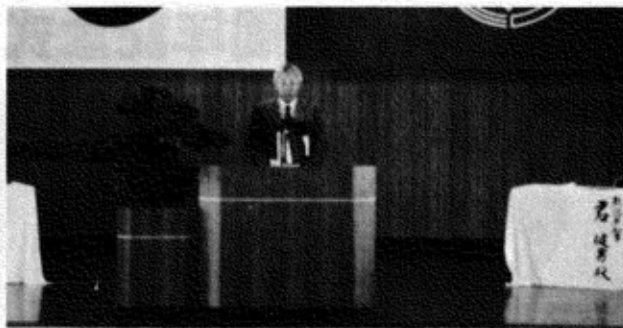
終わりに、町民の皆様のご多幸と狛江市、川口町の益々の発展と友好の輪が更に広がることを祈念いたしましてお祝いのことはいたします。

昭和六十二年七月二十五日

新潟県知事 君 健男



▲ 自治功労者特別表彰



▲ 祝辞を述べる新潟県知事代理・金子副知事

町制施行三十周年 自治功労者特別表彰

- 地方自治関係
 - 関 登代一 喜多村喜平
 - 広井 吉夫 関 市作
 - 綱 直太郎 覚張 定一
 - 古田島 正
- 保健医療関係
 - 栗原 稔 佐藤 靖邦
- 産業経済関係
 - クローン(株) 東芝管球器
 - 材(株) 信越工業(株)
 - (株)酒巻製作所 抗体化成工業(株) 越後製菓(株)
- 農林水産業関係
 - 星野 正作 宮 寅一
 - 渡辺 一 関 弘藏
 - 山田 利吉 鈴木 融
- 商工業関係
 - 小宮山久治 中林 只二
 - 広井 福一 渡部 政夫
 - 関 子之松 山吉 勝治
 - 村山 金栄
- 芸能文化関係
 - 大洲 ゲン 覚張 栄一
- 社会福祉関係
 - 榎 好子
- 交通関係
 - 生越 千里 大久保栄作
- 環境衛生関係
 - 川口中学校新学生会

東京都狛江市 ふるさと友好

教育・文化・スポーツ・産業など

川口町町制施行三十周年記念式典及び友好都市提携調印式が行われるに当たり、謹んでお祝いの言葉を申し上げます。川口町は、信濃川と魚野川の二つの流れが合流する河岸段丘に開けた川の幸、山の幸など豊富な資源に恵まれ、遠く古代から多くの人々が生活を営んでいた歴史のある町と何一つありませんが、本年三十周年を迎えられましたことを衷心よりお祝い申し上げます。

今日の地方公共団体は、厳しい財政事情のなかで、急激に進行する高齢化社会への対応や、活力ある町づくりなど多くの行政課題を抱えている訳でございます。川口町は、健康にしているおのいのある定住条件を満たすための環境整備事業をはじめ、各種の事業を積極的に展開し、自然を活かした個性豊かな、住みよい町づくりに大きな成果を挙げられている町と承知いたしております。

気候、風土、生活環境を乗り越え
両市町民の末長い交流を
狛江市長祝辞

「ふるさと友好都市」提携書
自然のもつ豊かな恵みは、人々の心に「うるおいとやすらぎ」をもたらします。豊かな自然を愛する狛江市と、美しい自然に恵まれた川口町は、教育・文化・スポーツ・産業など幅広い分野において交流を行い、相互の発展と「ふるさと」と呼びあえる心ふれあう友好都市となることを提携いたします。昭和六十二年七月二十五日

「ふるさと」と呼びあえる
心ふれあう「友好を

新潟県川口町長 青柳 弘
東京都狛江市長 石井三雄

都市提携調印

幅広い分野で交流



▲ 調印が終りガッチリと握手する両首長 右 石井狛江市長 左 青柳川口町長

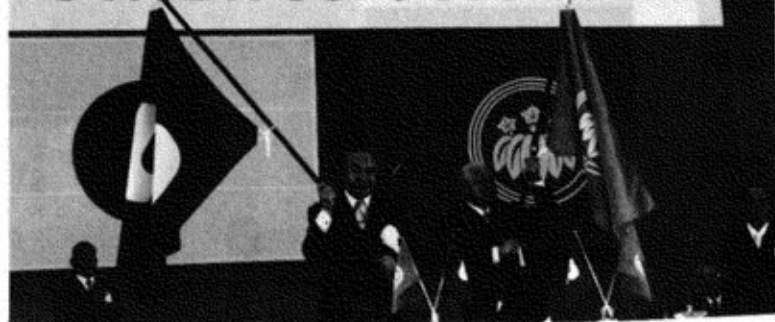
念願の狛江市との「ふるさと友好都市」提携の調印式が町制施行三十周年記念式典に引き続いて同会場で、大勢の参列者、報道関係者が見守るなか、挙行されました。

狛江市からは、石井三雄市長をはじめ小川文平議会議長を先頭に同議会議員（二十五名）も全員が出席。市あげてこの「ふるさと友好都市」提携を歓迎しており、市幹部職員あわせ総勢四十名が出席して、石井市長、青柳町長により晴れて調印が行われた。

両首長ガッチリと握手

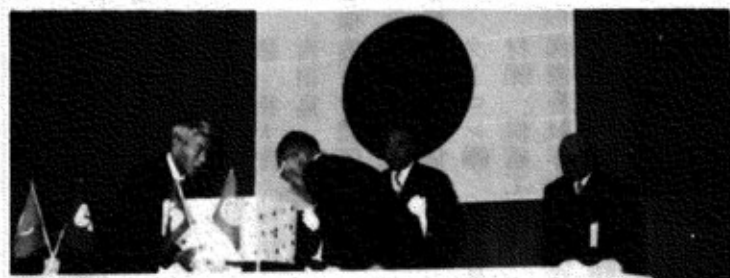
- 会場の川口中学校体育館ステージには、狛江市長、同市議会議長から贈られた、市特産の花木、「バラ」「カスミソウ」「ラン」があでやかに会場をいろどり、心温まるなか今世紀最大のドラマノが始まった。調印式の模様をドキュメントで追って見た。
- 十二時三十分 調印開始の宣告
 - ステージに向って右側に狛江市、左側に川口町、両首長及び両市町議会議長、介添役に両市町幹部職員が登壇。
 - 十二時二十九分 両首長提携文書に署名。
 - 十二時三十二分 提携書交換。
 - 祝砲が轟くなか、提携書を交換し、両首長ガッチリと握手（万雷の拍手が起る）
 - 十二時三十三分 提携文の朗読。
 - 十二時三十四分 両市町旗の交換。
 - 市旗、町旗が両首長により交換。

町制施行30周年記念式典



▲ 市旗、町旗を交換し披露する両首長

- 十二時三十六分 記念品の交換。
- 両市町議会議長により交換。
- 十二時三十七分 記念樹の交換。
- 両市町の木、狛江市「イチヨウ」、川口町「サクラ」の目録が両市長、町長により贈られる。
- 十二時三十九分 調印式終了宣告。



▲ 記念品を交換する両市町議会議長 右 小川狛江議長 左 小宮山川口議長

これは偏に、青柳町長さんをはじめ町議会議員並びに町職員の皆様のご努力と、町民のご理解とご協力の下に一丸となつて、町づくりに全力を傾注されてきた賜であると、深く敬意を表する次第でございます。

この栄ある町制施行三十周年記念式典に併せて川口町と狛江市が友好都市として調印できることは、都市化が進み自然が失われつつある狛江市民にとっても大変意義あることでもあります。

私は、この交流が単に行政間での提携に終ることなく、相互の発展と、この美しい豊かな自然に恵まれた川口町に生まれ育った町民の皆様と狛江市民とが、気候、風土、生活環境などの違いを超え、心と心のふれあう交流にまで発展し、長く続きますよう希望いたしております。

最後に、川口町が町制施行三十周年を契機として、更に住みよい町づくりを目指し益々のご発展と町民の皆様のご健康をお祈り申し上げます。昭和六十二年七月二十五日

東京都狛江市長 石井三雄



会場を色どる「ラン」

狛江市民と川口町民が、手をとりあつて、互いに助けあい末長く交流されることを期待して止みません。狛江市民の皆さん、いつでもお気軽においで下さい。お待ちしております。



会場を色どる「バラ」「カスミソウ」

この町は 君が住む町 創る町



▲ 夫婦で参加

大民踊流し
カラオケ大会



▲ 今年も260名余の婦人が参加してまつりを盛り上げる。



▲ 田麦山
若衆みこし

威勢よく!!



▲ 婦人みこし



▲ 木沢小児童による天神ばやし初参加

▲ 泉水小児童によるトランペット隊も初参加

▲ 田麦山小児童による棒踊り
(町文化財郷土芸能)



君が主役
あおり太鼓が響き武者が町をいく



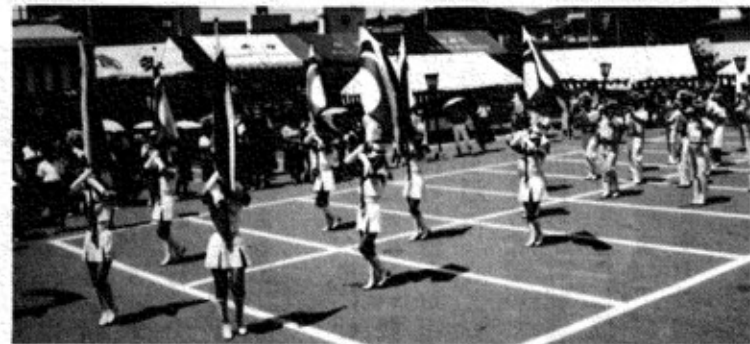
▲ いざ出陣
あおり太鼓(川口小児童)



▲ 総大将は川口中新生会会長



▲ 女御も出陣



▲ 県警音楽隊、カラーガーズを招き交通安全パレードを実施



▲ 町長を先頭に



▲ 交通安全パレード・町内小学校鼓笛200名
余が参加。



▲ 交通安全宣言を
行う小学生代表

ふるやりのまじりは
心を熱くする

おまじり
特集

すばらしい演奏と演技

県警音楽隊、カラーカーズ



▲ 町制30周年を祝い町建築組合によるモチまき



川口五児童会、父兄が
自発的に清掃奉仕!!
—— 老人クラブも

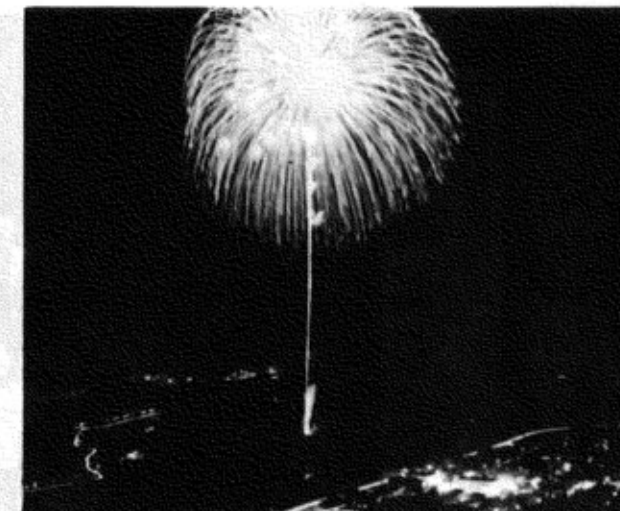
まつりが終わったあと、二十
七日早朝、川口五の児童会、
父兄の皆さんにより、お祭り
広場や同周辺のゴミ、空缶拾
いが行われました。
また、老人クラブでは毎年
花火大会が終わった翌日に魚野
川土手の清掃に協力していま
す。ご苦労様でした。



▲ お祭広場は大観衆で
いっぱい。花火の夜、
今年は約六千人がくり
だし祭りを楽しんだ。
▲ 闘牛も登場 木沢、峠



▲ 曳き船登場 商工会



町制施行30周年
轟きの二十号
大輪の花を
咲かす

万灯行列華やかに



▲ ホーショク



▲ 牛ヶ島



▲ 東部第5区



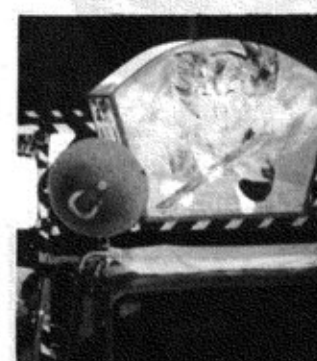
▲ 和南津



▲ 田麦山



▲ 相川



▲ 東部地区館



▲ 中山



▲ 役場



▲ 西川口



▲ 農協



▲ 東部第3区

新農業委員決まる

会長に星野正作氏

七月十二日執行された、任期満了に伴う町農業委員会委員
一般選挙は、無投票により、十人の方々が当選されました。
また、選挙による委員のほか、町農業協同組合、小千谷地
域農業共済組合及び町議会のそれぞれの推せんを受けて、町
長が三名の委員を選任し、計十三人の新委員が決まりました。
七月三十一日、新メンバーによる第一回目の同委員会が開
かれ、会長に星野正作氏(二期目)、会長代理に綱富兵氏が
就任しました。任期は三年。
同委員会は、農業者の代表機関として、農業生産力の発展
及び農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与する等
の重要な任務についています。

選挙による当選者(届出順)

- 喜多村祐成 和南津
 - 星野 晋 木沢
 - 丸山 進 和南津
 - 星野 誠一 田麦山
 - 星野 義雄 西川口
 - 山田 基 西川口
 - 星野 良治 相川
 - 桜井藤一郎 田麦山
 - 星野 正作 中山
 - 保科 友一 牛ヶ島
- 農協による推せん者
綱 富兵 同組合長
小千谷地域共済組合による
推せん者
新保 定雄 同組合長

町議会推せんによる学識経 験者

- 山吉 寛栄 川口

成人式
8月14日(金)
AM 10時~
於 サン・ローラ 川口

62. 7. 25
新潟
川口
スポーツと
ロマンの町
NEW

川口郵便局は7月25
日から風景入通信日付
印を使用開始しました。
「スポーツとロマンの
町」川口町を全国に紹
介します。

町制施行30周年記念事業
テレビ特別番組放映

お盆の8月15日午後5:00~5:30
新潟テレビ21で放映されます。
ごらんください。



▲「ストライク！」町民野球大会始球式6/12 於野球場

町民野球大会の開会式は七月十二日、運動公園で二十一人チームが参加して開かれ、町長杯をめぐる、熱戦の火ぶたがきられた。大会は、三ブロックに別れてリーグ戦で行い、九月六日(日)の決勝トーナメントを目指し、長丁場の戦いがくりひろげられる。

町民野球大会開幕

町長杯 第三十二回 争奪戦

式を行い、野球場、多目的広場で九試合が行われた。さあ、今年の栄光に輝くチームはどこでしょうか。なお、野球場では、ナイター試合が行われています。夕涼みかた観戦してみませんか。

参加チーム名

- | Cブロック | Bブロック | Aブロック |
|--|--|---|
| 丸山工務店
東芝管球材
丸山建設
川岸町店
青柳工務協
農ヶ島オックス | 役場サンディーズ
カージナルス
相川ライオンズ
パイレーツ
アンサーズ
嘉富町ファイターズ | 生越キラース
インディアンズ
ホープス
西川口球友会
ハリケン
酒巻製作所
タイガース |

カメラ レポート

父ちゃんソフトボール大会

今回で第三回目、公民館主催による父ちゃんソフトボール大会が六月二十八日(日)、運動公園で九チームが参加して開催されました。選手は、四十歳以上が条件というユニークな方法で行われ、今年は、和南津の父ちゃんが優勝しました。ちなみに平均年齢は四十五歳。



▲ 優勝した和南津チーム

老人福祉大会

町老人クラブ連合会主催による老人福祉大会が六月二十八日、総合福祉センターで四百七十名が参加して盛大に開催されました。大会終了後行われたアトラクションでは、歌手の田端義夫さんを招き、歌謡ショーを楽しみました。



▲ 於 総合福祉センター

田端義夫 ショー

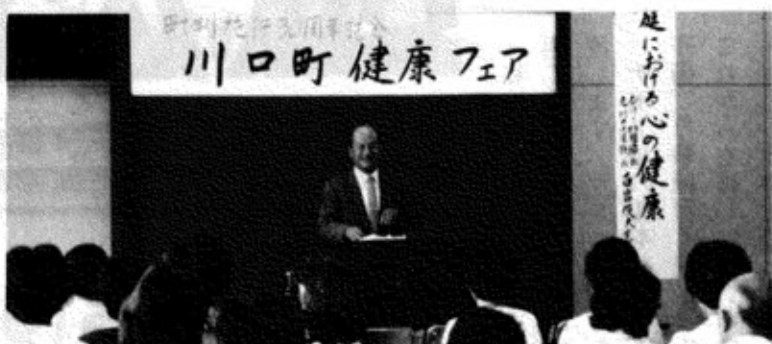
なつかしの
メロデー



▲ 料理の展示、試食コーナーに人気が集まる 7/5 於 福祉センター

川口町健康フェア

町制施行三十周年記念事業の一つとして川口町健康フェアが七月五日(日)、五百名が参加して総合福祉センター、文化会館で開催されました。成人病予防をはじめ薬草、エイズコーナーなどの催し会場となった福祉センターには続々と家族連れなどが訪れた。特に主婦をはじめ高齢者に



▲ 元川口小学校長 白岩俊夫先生 7/5 於 文化会館

健康の関心が高く、各コーナーを熱心に見いていた。又、料理の展示、試食コーナーには人だかりができ、その人気のほどがうかがわれ、うなづいたりメモをとっている人もいた。午後からは文化会館で、白岩俊夫先生(長岡市ひばり幼稚園長)が「家庭における心の健康」と題して講演されました。



◀ 花束贈呈



▶ サイン会

川口町PTA研究大会

川口町PTA連絡協議会主催による「昭和六十二年度PTA研究大会」が田麦山小学校で開催され、約二百五十名が参加しました。「親子のふれ合いをどう深めたらよいか」をテーマに、熱心に講師の話しに耳をかたむけていました。



▲ 川口町PTA研究大会 於 田麦山小学校

町民ファミリー マラソン大会

町民ファミリーマラソン大会は七月十九日、四十二名が参加して開催されました。

成績結果

- | 2 km コース | 5 km コース | 7 km コース |
|--|--|----------------------------------|
| 女子の部
一位 五十嵐香苗
二位 大淵 理絵
三位 内山たか子 | 男子の部
一位 佐藤 智之
二位 渡部 聡一
三位 五十嵐一紀 | 一位 大淵 竜也
二位 山吉 和浩
三位 山田浩太郎 |



東京からの便り

第1回泉水小東京同窓会盛大に開催
郷里の盆踊り 佐渡おけさなど賑やかに!
51名が参加

六月二十八日午後一時から東京新潟県人会館で、初めての川口町泉水校出身者の同窓会を開き、五十一名が参加して、楽しさいっぱいのすばらしい催えを致しました。始めに相武会長の広井喜平氏より司会を兼ねて開会の挨拶次に牛ヶ島会々長の清水嘉吉氏の同窓会開催に至るまでの経過報告があつて、ふるさと越後川口が「都市と農村交流」のモデル町に指定されたのを契機に、東京川口会を発足させ、急速に故郷出身者の結束が強まり、話し合いが進展し同窓会をやるうということが決まりました。今後皆様方のご賛同により、二年に一回は開催していきたいと話された。引続き荒谷会々長の宮辰治氏より挨拶と乾杯の音頭で、第二部の懇談会に入りました。久方ぶりにお互いが顔を合せ、懐かしい郷土の話や、友人仲間の消息、昔し語りに枝伸び尽きることがなく、そのうちに、カラオケや十日町小唄、佐渡おけさ、郷里の盆踊りが賑やかに会場いっぱいになり熱気が溢れ、温かい友情の輪ができました。



▲初めて開かれた泉水小東京同窓会 於東京新潟県人会館

楽しさのあまり、時間のたつのも忘れる程で、とうとう四時の締切り時間が来てしまいました。最後の「中メ」を阿部源吉氏の音頭で力強い手拍子で相和し、閉会となりました。お互いが名残りを惜しみ、再会を約束して解散しました。誠に意義深い泉水小第一回東京同窓会をここに終了した次第です。皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。代表 清水嘉吉記

ヤング紹介 ④7



竹田 星野 雄一 さん

愛らしい人と喫茶店をもちたい……夢?

- Q 趣味は何んでしょうか。
- A 特にありません。何でも浅く幅広くトライしています。
- Q 休日は何をしていますか。
- A ドライブ
- Q 理想の異性像は?
- A 小柄でかわいい人。
- Q 若さの証明とは何んですか。
- A 何にでもトライできること……かな?
- Q 今の仕事の満足度は?
- A 50%
- Q 町への要望はなにかありますか。
- A 運動公園に遊べるプールをつくってほしい。
- Q 好きな「ことば」は?
- A 竹馬の友
- Q いちばん嫌いなのは?
- A 交通事故とおまわりさん。
- Q 将来の夢を一言どうぞ。
- A 夫婦で喫茶店を経営したい。
- Q 川口町が都会よりよいと思うところなんでしょうか。
- A 四季がはっきりしていて、自然が多いところ。
- Q 最後に自己アピールを!
- A 皆さんよろしくお願ひします。

スポーツの町宣言

ぼくたちスポーツ少年団

ベースボール

チームワークをモットーに!
チビッコ 勢揃い



わがスポーツクラブ・サークル紹介

子どもたちは、勉強や塾のあい間に練習をしています。できるだけ学校の行事、塾に当てないよう練習日程を組むことが、指導者の頭の痛いところ



野球好きなチビッコ達が大勢います。現在、上川、西川口、田麦山、和南津、東部少年野球の五チームに、百二十名余のチビッコが練習に励んでいます。いかに川口町の野球熱が盛

イベント、スポーツ少年団主催の町内親善球技大会です。大会は、町運動公園で行われ、自信に満ちた顔、不安そうなお顔、さまざまですが、町内チームのチビッコたちが一同に会し、親善を深めます。



こころです。子供たちは、大会を楽しみに練習に励んでいます。郡大会では春の日報杯、秋のライオンズ杯に出場します。又、子供たちが一番楽しんでいるのが、秋のビッグ

私達のチーム(東部)は、週二回運動公園で練習に汗を流します。ランニング、キャッチボールの基本を大切に、守備、打撃練習と続きます。これからも厳しい練習の中にも楽しい野球を志し頑張りたい



私達指導者の役割は、野球を通してチームプレー、マナーを覚えさせることです。太陽の下で汗を流し、精一杯やった練習後の満足感、そして、かならずや体で覚えてくれると思います。

チビッコ選手勢ぞろい

- 上段 東部少年野球チーム
- 中段 和南津少年野球チーム
- 下段 田麦山少年野球チーム



いと思います。今回は、五チームあるため代表して東部少年野球指導者の内藤克己さんから寄稿いただきました。

郷土の歴史を綴る

(郷土歴史愛好家) 佐藤 栄氏

町制施行当時を振り返って

ふるきをたずねて 新しきを知る

温故知新 (二)

振り返ってみれば、約一五〇〇戸に住む町民は、よくぞ和してたゆまず着実に歩み続けてきたものだ。

町制施行当時の一、二を、町史や書類から拾い集めてみると次のようであり、隔世の感をいだかずにはいられない。

一、当時の公共施設 道路事情

その当時の道路事情は、どうであっただろうか。それはどの道も未舗装の砂利道であった。国道十七号線を小出・小千谷間に八往復のバスが行し、時おりトラックがもう

年月日	できごと
昭和三、三	田麦山村が川口村に合併
昭和三、六	和南津橋が木橋からコンクリート製永久橋となる
昭和三、一〇	川口橋が木橋からコンクリート製永久橋となる
昭和三、二、一	東山村の木沢・峠地区が川口村に合併
昭和三、三、三	村宮川口診療所開設
昭和三、三、九	田麦山簡易水道供用開始
昭和三、三、七	田麦山油田試験はじまる
昭和三、二、一〇	川口東部地区簡易水道供用開始
昭和三、六、一	宝積寺に私設の「たから保育園」開設
昭和三、八、一	川口町誕生



▲ 施行当時の東部中心市街全景

もうと砂ほりを巻き上げて通っていた。家並みのつづく東部地区では、日照りつづきになると、荷車に水槽を乗せた簡易な散水車が登場していた。これらの道も積雪期には、カンジキによる道路確保の雪道になる。従って、緊急を要する消防器材運搬には、

車もソリも常設して置かなければならなかった。

二、当時の文化施設

次に、当時の文化施設を「文書綴り」の中から拾ってみた。

(一) 公会堂

施設名	施設者	収容人員
牛ヶ島公会堂	川口村	120
竹田公会堂	川口村	80
相川公会堂	川口村	120
荒谷公会堂	川口村	70
東部公会堂	川口村	150

(二) 公園

公園名	所在地	公園坪数
男山公園	西川口	1,800
十八番公園	川口	1,500

と記されている。公の集会所を持たぬ地区は、それなりの家を借りたり、学校、寺、

神社等で事を済ませていた。数少ない公会堂は、その便利さ、公平さからも、現在各地区に建設されている集会所のいざないであったような気がする。

電化時代を迎えた

さて、時代は確実に動いていた。昭和二十八年一月一日、テレビの放送が開始された。当時のテレビ受像機は、値が高く、一般庶民には手の届かぬ「高嶺の花」であり、加えて、難視聴地域のため、すぐ購入する家はなく、もっぱらラジオを聞いていた。昭和三十三年五月の調べでは、ラジオ聴取数は、一四七六台に達している。

昭和二十年代後半から三十年代に入ると、食糧が出回りナイロン、ビニロンの合成繊維が登場し、電機洗濯機、電気冷蔵庫、電気掃除機等も売りに出されて現代版「三種の神器」と呼ばれるようになった。昭和三十一年の経済白書は「戦後は終わった」と、告げている。

がんばった町消防団

第二十三回 消防ポンプ操法競技会 北魚地区支会

ポンプ操法競技大会が七月十二日、広神村西小学校グラウンドで、七市町村からポンプ車四台、小型ポンプ九台が参加して開かれ、第一分団(東部)がポンプ車操法で二位に入賞し、小型ポンプに出場した第六分団(木沢)も入賞しました。

大会は、いざ火災出動に備え、日頃の訓練の成果を競い、技術の向上を目指し、規律、スピード、確実性などを減点



▲ 上段 第1分団(東部)放水
下段 第6分団(木沢)点呼



健康状態の 調整タイム

昼休みの過ごし方として大切なのは、午前中の仕事と午後の仕事の合間に、心身の健康状態の調整をすることです。とはいっても、わが国の場合、昼休みに一時間以上もかける習慣がありません。

みの方 の過ごし 方

自分に適した 体操を見つけよう

食後に激しい運動をして腹痛を経験したことがあると思いませんか。これは、摂食した食事を消化吸収するための消化

「今さら運動なんて」などといっている人も、条件さえ整えば自然と体を動かしたくなるものです。

職場体操で 能率アップ

労働といってもその形態はさまざまです。単調な労働、あるいは体の一部分だけに密度の高い労働が集中する仕事の人は、休憩時間を利用して「心地よい全身の疲労」を得るための運動をする必要があります。

密度の高い労働負担が、体のどの部分に集中するかは仕事によって異なりますので、それぞれに適した「自分の体操」を創造してください。仕事の合間に「気分が爽快になる」体操を三種類か四種類、リズムをつけて四〜五回くり返すだけでいいのです。

職場体操のことを英語でプロダクティブ・ジムナステイクス(生産的な体操)といいます。仕事の合間を上手に使うって体操することで、より一層能率よく仕事ができるという意味です。